

2021年9月期 第2四半期決算 WEB 会議 Q&A (2021年5月14日開催)

シミックホールディングス株式会社

Q.「Healthcare Revolution 2.0」の業績面での規模感とポテンシャル、受注状況はどうか。

⇒ヘルスケアセグメント以外も含めたグループ全体への影響としては20-30億円規模になるだろう。シミックとしては、ヘルスケアリテラシーの高まりやヘルスケアシステムの改善が、ひいては医薬品開発にもつながっていくものと考えている。

Q.キャパシティの点から、自治体の要望に対してどこまで応えられるのか？

⇒市町村の要望は様々で、業務内容や支援場所も違うが、グループ内はもとより、外部のリソース等も活用してお応えしていく。

Q.COVID-19 を機に、予防や未病ビジネスへの展開は可能か。

⇒可能だ。COVID-19 を機にヘルスケアの重要性が高まっており、様々な企業と連携して予防や未病ビジネスを展開していく。

Q.CDMO 事業の Q2 実績は営業利益の進捗率が高い。実績及び見通しにおける変動要素は何か。

⇒CDMO 事業の事業環境は、COVID-19 を機にサプライチェーンや生産の重要性が再認識された一方で、ジェネリック医薬品メーカーにおいて品質問題が発生しており、ニーズが高まると考えられる。Q2 の受注実績は順調だが、CDMO 事業は受託から商用生産までのリードタイムが2年ばかり、業績に貢献するまでタイムラグがあるものだ。今期 CDMO 事業の利益にマイナス影響を与えているのは米国の CDMO 事業で、特定の顧客に集中していたため、改革を進めている。

Q.CDMO 事業の Q2 の黒字要因は、既存案件の稼働率改善等によるものか。上期の利益が下期も維持できると考えてよいか。

⇒Q2 は既存案件とシミック CMO 西根が業績に貢献した。通期では、注力しているバイオ分野への先行投資もあるため、減速する見通し。

Q.5/13 (木) 公表「シミック HD と DEVELOPMENT CENTER FOR BIOTECHNOLOGY、協働についての基本合意書を締結」について。海外における振興バイオベンチャーの育成やファンドの組成、それが業績に貢献するまでのリードタイムはどう考えているか。

⇒本合意は、日本と台湾における新興のバイオテクノロジー市場や新規事業を視野に入れた技術応用や事業開発を模索するもの。シミックは台湾の進んだバイオの技術と組むことで、競争力ある受託ビジネスをつくっていく。業績への貢献については、単なる受

託ではなく、バイオの支援を行いながら進めるのであれば、中期的な時間を要すると考えている。